

分野	農業水利改良			事業番号	49	事業名	県営かんがい排水 (基幹水利施設ストックマネジメント)			
市町村名	長野市	ふりがな 箇所名	じょうゆせき 上中堰	事業年度 (完了年度は見込み)	H24年度～		H28年度			
事業概要	計画概要 (延長・幅員・面積・工種など)	分水工補修工 1基 用水路補修工 L=728m				H23年度末事業進捗率	0%			
	H24年度以降実施内容	同上				本工事費等ベース	0%			
	H24年度実施内容	測量設計 1式				用地補償費ベース	0%			
	年度	全体事業費	H22年度まで	H23年度	H24年度	H24年度以降残				
	事業費計(千円)	170,000	0	0	16,000	170,000				
財源内訳	国庫支出金	85,000	0	0	8,000	85,000				
	その他	42,500	0	0	4,000	42,500				
	県債	38,000	0	0	3,000	38,000				
	一般財源	4,500	0	0	1,000	4,500				
	観点	評価項目・指標等			評価			ランク	評点	
(20)	必要性	受益面積	500ha以上	200ha以上500ha未満	200ha未満	A	10	3		
	施設危険度	人家等への災害が予想	農地等への災害が予想	災害が予想されない	5					
	地域用水機能	地域用水機能を有する	地域用水機能有しない		10					
	小計				18					
(20)	重要性	市町村計画での位置づけ	位置づけあり	位置づけなし	A	10	7			
	県農政の重要施策への取組み	2つ以上推進	1つ推進	取組みなし			5			
	設計上の環境配慮項目	2項目以上配慮	1項目配慮	配慮項目なし			3			
	小計						15			
(15)	効率性	費用対効果(B/C)	B/C1.2以上	B/C1.1以上1.2未満	B/C1.0以上1.1未満	A	10	5		
	早期発現度(効果発現まで)	5年以内	6年以上10年以内	11年以上	5					
	地域特有の取組み	2項目以上	1項目	なし	3					
	小計				13					
(25)	緊急性	用水不足又は排水不良	受益の50%以上	受益の30%以上50%未満	受益の30%未満	B	10	10		
	応急対策の実施状況	応急対策を実施中	応急対策を過去に実施	応急対策を未実施	3					
	維持管理費節減	50%以上	30%以上50%未満	30%未満	3					
	小計				16					
(20)	計画	地域からの要望	地域住民の内発的な活動が強い	市町村からの要望がある	特に要望ない	B	10	6		
	事業情報の共有	関係者以外に広く周知	関係者を中心に周知	特に周知してない	3					
	住民参加の状況	住民が計画策定に直接参加	住民や市町村の意見を計画策定に反映	住民意見は反映していない	4					
	小計				13					
費用対効果(B/C)		1.43		評価の合計			A	75		
事業周辺環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	現施設は昭和50年～55年に県営かんがい排水事業により改修されたが、その後30年程度が経過し、コンクリートの磨耗や目地の劣化が見られるようになった。施設の老朽化により施設に重大な破損が生じた時には、用水系統全体への農業用水の供給や、地域用水としての利用に支障をきたすとともに、付近への災害につながることも懸念されている。								
	地域からの要望経緯	施設の老朽化に伴う劣化が進んできたことから、上中堰土地改良区から改修要望があり、平成20年度から事業化に向けた検討を行っている。								
	事業説明等の経緯	平成20年度から土地改良区との現地調査を重ね、平成22年度にはソフト事業による機能診断及び機能保全計画策定を行うなかで土地改良区とともに保全対策を検討している。(平成22年8月以降10回程度打ち合わせを実施)								
	環境・景観への配慮項目	既存構造物の延命化対策であるため、既存施設の有効利用を図り、産業廃棄物の発生を最小限に抑える。								
	他事業・プロジェクトとの関連	特になし。								
特記事項	特になし。									
地域の合意形成	全員賛成	概ね賛成	過半数賛成	動向不明	その他					
部意見	築造後30年以上が経過し、老朽化による施設のコンクリートひび割れや摩耗・破損などが多く見られることから、必要性が高い。既存既設の補修対策により、効率的な更新整備を行う。			政策評価課意見	必要性、重要性が認められる。					